



CIRのつぶやき

国際理解教育・国際交流・
国際協力・国際観光・多文化・
相互理解と友好を図る



Facebook page :
滝川市国際交流員/Takikawa CIRs

いいね!
押してね◎

2022.08.01 第28号 モンゴル最大の祭典「ナードム」



「ナードム」19世紀の絵画



モンゴルの三大伝統三大スポーツ



ナードムの開会式

モンゴルから来ました国際交流員のノミンです。初めてのCIRつぶやきです。今回はモンゴル最大の祭典であるナードムを皆さんに紹介します。

ナードムとは遊び・祭りという意味です。遊牧民族は、昔からナードムを開催していたようです。中国の古代史料に匈奴（きょうど）が夏になると競馬、相撲、弓技などをしてしていると記しています。

1206年にチンギスハーンが即位し、モンゴル帝国の建国記念として、ナードムを定期的に行われ、国民的な祭りとして祝うようになりました。現代のナードムは1921年にモンゴルが独立したときに、革命が起きたことを記念して、毎年7月11日に開催するようになりました。

また、ウランバートル市で開催される国家ナードム祭以外に、7月～8月にモンゴルの各地でたくさんの小さなナードムが開催されます。モンゴル人のほぼ全員が参加し、それを見ようと世界の各国から大勢の観光客が訪れます。海外駐在のモンゴル人も自分達が住んでいる国でナードムを開催し、お祝いしています。

2010年にユネスコの世界無形文化遺産として登録されました。



野外ナードム1970年代の写真



CIRのつぶやき

国際理解教育・国際交流・
国際協力・国際観光・多文化・
相互理解と友好を図る



Facebook page :

滝川市国際交流員/Takikawa CIRs

いいね!
押してね◎

2022.08.01 第28号 モンゴル最大の祭典「ナーダム」



Монгол бөх facebook page より引用

モンゴル相撲



www.ikon.mn より引用

弓技



www.morinerdene.mn より引用

競馬

ナーダムでは**モンゴル相撲**、**弓技**、**競馬**の三大伝統競技が行われます。

日本の国技が相撲であるようにモンゴルの国技も**モンゴル相撲**です。モンゴル相撲は32人から512人で、トーナメント式で、選手が組んで戦います。土俵がなく、頭、ひじ、ひざ、背中の中のいずれかが先に土についた者の負けとなります。また、入場の際に鷹が飛ぶような踊りを舞う儀式が特徴です。全国大会で、頂点に立つには9回の試合に勝つ必要があります。5回勝ったら相撲の小結に値するナチン（鷹）、7回勝ったら関脇に値するザーン（象）、優勝したら大関に値するアルスラン（獅子）の地位を与えられ、全国大会で2回以上優勝したら、横綱にあたるアバルガ（巨人）の称号が与えられます。

弓技については1225年にモンゴルの伝統文字で書いたイエスゲ紀功碑に記されています。長さ約1mの矢を、長さ120～170cmの弓で放ちます。的までの距離は男性75m、女性65mです。見事に的に当たれば、他の選手からも大声で喝采が起こります。

モンゴルは騎馬民族であり、そのため一番大切な動物は馬です。**競馬**は相撲と並ぶナーダムの大切な楽しみです。各地で開催されるナーダムに総勢で2万頭の馬が競争します。馬の年齢によって走る距離が異なり、6班に分けて、10kmから25kmを走らせませす。馬に跨る騎手は7歳から13歳の少女です。小さな騎手が巧みに馬をコントロールし、土埃を上げながら草原を疾走する姿は、見ているだけで血が熱くなります。

(各写真をモンゴルのニュースサイト及び関連スポーツ連盟のサイトより引用)